

成果事例（前橋市の新たな道の駅整備）

H28年度 新たな道の駅整備における民間活力活用のための検討調査

【実施主体名：前橋市】

○ 基盤整備の必要性（申請時の課題）

太平洋と日本海を結ぶ基幹道路である国道17号上武道路は、平成28年度中の全線開通に向けて整備が進められ、交通渋滞の解消や物流の効率化に加え、地域経済活性化への寄与が期待されていた。これを契機に前橋市では、市北部に防災・復旧の中継拠点となる施設がないという問題点を解消するため、市北部の上武道路沿線に防災拠点と地域振興施設を兼ね備えた道の駅の整備を検討していた。

○ 調査内容

- ・道路・緑地を含むモデルプランの検討
- ・PPP/PFI導入可能性検討
- ・官民役割分担の検討

○ 調査成果の活用（基盤の事業化）

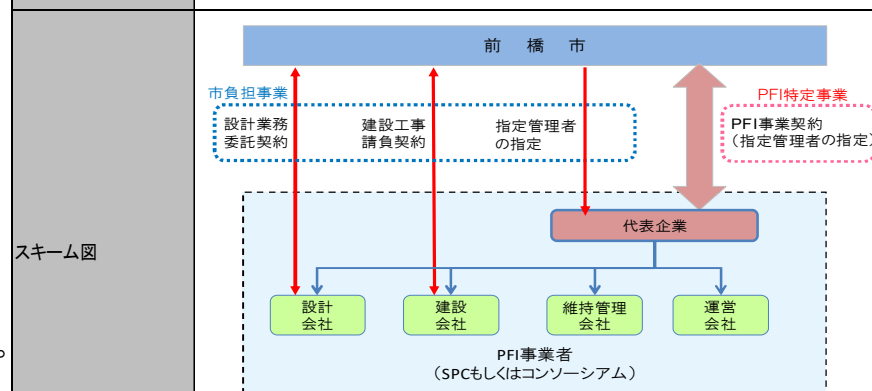
- ・PFI実施方針（H29.1策定）
- ・アクセス道路整備（H30.8事業着手）
- ・PFI特定事業契約締結（H30.12契約締結）

道の駅仮称「まえばし」 R3.7開業予定



○ 導入したPPP/PFI事業手法等について

事業方式・事業類型等	BTO方式・独立採算型、指定管理制度		
運営期間	約15年（開業日～令和18年3月31日）		
導入する施設機能等	整備内容	事業方式	予定運営母体
	駐車場・芝生広場等	指定管理制度	指定管理者
	観光案内所	指定管理制度	指定管理者・DMO
	農畜産物直売所、地産レストラン等	整備：市、運営維持管理：独立採算型	PFI事業者
	カフェ、24時間物販施設等	BTO・独立採算型	PFI事業者



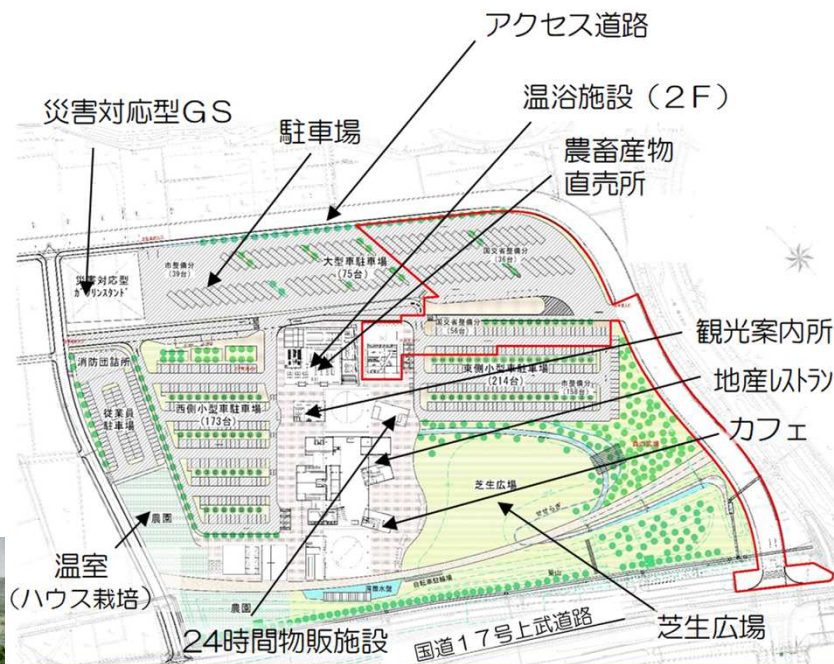
※本事業スキームは事業者公募時の想定であり、変更になる場合があります。

【対象地域：群馬県前橋市】

位置図



【主な道の駅配置図】



※本計画図は基本設計資料であり、変更になる場合があります。市整備部分は赤枠以外が対象になります。

【道の駅イメージパース】

